

しもつのうちいじほぜんかい

下角農地維持保全会（松本市）

・組織の活動面積 A= 38.17 ha

・組織の構成員数 約 65 人

組織形態

農地維持

資源向上(共同)

資源向上
(長寿命化)

取組開始年度

平成26年～

—

—

構成員

農家

組織の概要

下角は、松本市のベットタウンとして、農地の宅地造成が進み、昔から住んでいる農家より比較的若い新しい住民の方が多く、このため子供の多い地域であるが、反面農家の高齢化や近年の核家族化に伴い空き家も増えている。地形は、梓川の扇状地でやや北東に傾斜しているが、大きな畦は見受けられない。圃場整備された優良農地が多く作業効率が良いとおもわれる。集落の西側には、河岸段丘があり、上は、リンゴ主体の畑作、下は、水田と住居が混在している。組織の構成員は、第3種兼業農家がほとんどで、定年退職後に農業に取り組む人もいるが、かんじんの専業農家の方は、作業に追われこの活動に積極的に協力が難しいのが現状である。

みんなの力で地域をまもろう

【春の水路一斉清掃(泥上げ)】

新しく引っ越された住民と共に大勢の住民が協力して川の泥上げを行っています。まれにドジョウがいるので、水のある溜りへ移し川の生き物を大切にしています。

当該地域は、ほとんどU字溝になりその中でも力強く生きている生物を大切にしていこうと思っております。



【川の点検と機能診断】

鉄製の水田灌水器(給水補助器)が錆びて痛んでおり、この制度を利用して、新しくステンレス製に替える方向で検討しています。

【道路法面の草刈り】

この地域は、比較的平らで大きな法面は無いので、個人が自分の水田に接する道路や水路の草刈りをしていますが、雑草の種類によっては、刈りにくい(つる性)があるので、比較的刈り易い牧草(イタリアンライングラス)に、変えていくのはどうか?と、考えています。

